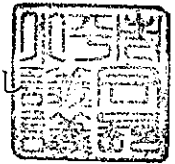




平議発第135号  
令和6年3月25日

小平市長 小林 洋子 殿

小平市議会議長 松岡 あつし



文書質問書の送付について

このことについて、小平市議会基本条例第11条第1項の規定に基づき、別紙のとおり文書質問書が提出されましたので送付いたします。

なお、回答につきましては、令和6年4月8日までをお願いいたします。

小平市議会議長 松岡 あつし 殿

会派名 まちづくり市民こいだいら

会派代表者名 水口 かずえ

質問者名 水口 かずえ

### 文書質問書

小平市議会基本条例第11条第1項の規定により、次のとおり文書による質問をいたします。

#### 1 質問項目

小平市立中央公園グラウンドの改修に関する基本的な方向性（中間報告）について

- ① 小平中央公園は市の広域避難場所に指定されていますが、グラウンドを人工芝にすることは耐火性その他の観点から問題はないのでしょうか。
- ② 中央公園グラウンドの排水システムの現在の仕組み、及び人工芝グラウンドに変えた場合には、どのように変更するのか教えてください。
- ③ 中央公園グラウンドの利用団体及び市民へのヒアリングで、ヒアリング対象となった団体や個人ごとに、出された意見の主な内容をお教えてください。
- ④ ヒアリングでは、市民の誰もが利用できるグラウンドとなるための工夫へのご意見も多く頂いたとのことだが、具体的な意見の内容をお教えてください。グラウンド改修のコンセプトを「市民の誰もが気軽にスポーツを楽しめるグラウンド」としていますが、グラウンドの人工芝化と改修のコンセプトは矛盾しないのでしょうか。
- ⑤ 人工芝グラウンドからのマイクロプラスチック流出を抑止するため、側溝へのフィルター設置等の措置を講じてしていますが、フィルター設置後の管理はどのように行いますか。
- ⑥ 全国的には、グラウンド改修に当たっては、人工芝または天然芝とする傾向があるとされていますが、天然芝にした事例とその理由について、把握しているものをお教えてください。
- ⑦ 人工芝にするときに使用するゴムチップについて、環境配慮型のゴムチップ以外の素材のものもあるとしていますが、中央公園グラウンドを人工芝にする場合、どのような素材のチップの使用を想定していますか。
- ⑧ 1面当たりの整備コストの比較で、排水、給水、囲障工事、その他工事に係る管理費を含む場合、人工芝では46,000円/㎡、天然芝では42,000円/㎡となっていますが、それぞれの場合の排水、給水、囲障工事、その他工事の内容と違い、及び整備コストに占めるそれぞれの内訳をお教えてください。
- ⑨ 1年間の維持管理コストが、天然芝は1面当たり約15,000千円/年とされています。天然芝の維持管理コストの算出では、年間の芝刈り回数や施肥、かん水等についてどのように設定したのか、コストの内訳をお教えてください。
- ⑩ 人工芝の維持管理コスト1面当たり約500千円/年の算出根拠もお教えてください。人工芝の場合は、側溝に設置するフィルターを定期的に掃除することが必要かと思いますが、その費用も維持管理コストに算入していますか。
- ⑪ 30年間のライフサイクルコストが、人工芝は1面当たり約310,000千円（15年目に全面張り替え）となっていますが、整備後8～15年の間に全面張り替えが必要とも書かれています。約310,000千円の算出根拠及び15年目ではなく8年目に全面張り替えした場合のライフサイクルコストをお教えてください。

## 2 質問の理由及び趣旨

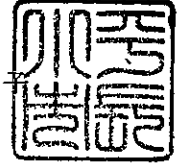
小平市立中央公園グラウンドの改修に関する基本的な方向性（中間報告）では、フィールド部分について人工芝化を前提に整備を進めるとしてはいますが、その根拠と正当性を詳しく説明してほしい。



平地文収第127号  
令和6年4月8日

小平市議会議長 松岡 あつし 殿

小平市長 小林 洋



回答書

小平市議会基本条例第11条第1項の規定による水口かずえ議員の文書質問について、次のとおり回答いたします。

- 1 広域避難場所は、地域における火災が拡大し、いっとき避難場所や避難所では危険であると判断される場合に、輻射熱や煙を回避し、安全が確保できる場所を指定しております。

東京都におきましても、都内にある人工芝の運動場を広域避難場所として指定しており、問題はないと認識しております。

今後、要求水準書の中で広域避難場所としての機能の維持等についても条件として記載することを検討いたします。

- 2 排水の現状は、雨水等を土中への浸透や排水用の側溝に流すことで対応しておりますが、スパイク等の踏圧損傷により土中に水が浸透しづらく、また側溝に土砂が溜まり雨水流下能力が低下している状況でございます。

人工芝化した場合の排水につきましては、雨水貯留槽や暗渠、排水溝の設置等の対策を講じ、グラウンド内の雨水等は基本的にグラウンド内で処理しつつ、グラウンドの排水溝から陸上競技場周辺に埋設する雨水管に接続させて処理することを想定しております。

- 3 ヒアリングでいただいた意見につきましては、団体からは、人工芝化や陸上トラックの全天候型化、予約方法の改善、個人利用を可能とすること、スポーツを通じた交流が生まれるような場にする、障がいのある方でも気軽に利用できるグラウンドにして欲しい、環境対策を行うべきなどの意見をいただきました。

個人からは、一人でも利用を可能にすること、使用ルールを徹底すること、市民総合体育館と連携を求める意見がございました。

- 4 利用に関する具体的な意見は、団体利用がない時間帯や、定期的に個人開放をできるようにすること、グラウンド内をフェンスで区切って、同時に複数の競技で使用できるようにすること、障がいのある方とともにサッカーや陸上競技をすることや車いすでグラウンドを利用できると嬉しいといった意見がございました。

改修につきましては、いただいた意見、要望を踏まえグラウンドを人工芝化や全天候型の陸上トラックにすることで、ブラインドサッカーや車いすの陸上競技といったパラスポーツなどもできるよう、年齢や障がいの有無に関わらず、誰もが気軽にスポーツを楽しめる環境

を整備するものであるため、コンセプトと矛盾しているとは考えておりません。

5 フィルターを設置した場合の管理は、グラウンドの管理者が定期的な清掃を行うことを想定しております。

6 天然芝にした事例につきましては、多摩地域の陸上競技場の多くは、フィールド部分は天然芝であると認識しております。また、天然芝とした理由につきましては、設置当時において一般的な仕様であったこと、また、十分な養生期間が確保でき、良好な状態を維持できるグラウンドキーパーの配置など維持管理体制が整っていることであると捉えております。

7 人工芝のゴムチップにつきましては、現時点で素材は決まっておりますが、古タイヤを再利用したゴムチップは使用いたしません。

8 人工芝と天然芝の整備内容、コストの違いにつきましては、基本的な整備内容と整備コストに占める内訳に大きな違いはございませんが、主に芝の下地部分にあたる路盤工事工法や使用する資材に違いがあります。

なお、1平方メートル当たりの単価が異なるのは、天然芝に比べて人工芝の材料費が高いことなどによるためでございます。

9 天然芝の年間の維持管理費につきましては、維持管理の内容によりますが、お示ししている金額は、芝刈り回数などの設定はしておらず、他自治体のサッカーやラグビーで使用するグラウンドの整備事業の維持管理費を参考に算出しております。

10 人工芝の年間の維持管理費は、9点目の天然芝と同様でございます。

なお、フィルターの定期的な清掃の費用につきましては、この維持管理費に算入しております。

11 30年間のライフサイクルコストにつきましては、整備コストと年間の維持管理コストを基に、5年ごとに面積の10%の部分張替、15年目に全面張替を想定して算出したものでございます。

人工芝を8年目に全面張替えした場合の30年間のライフサイクルコストにつきましては、おおむね5億3千万円でございます。